



感謝のことば

福島県立坂下高等学校

校長 松尾 幸生

本校は、昭和24年、福島県立会津農業高等学校に通常課程普通科が設置されたことに始まり、昭和29年に福島県立坂下高等学校として分離独立、会津地方西部の普通教育を担って地域の発展を支え続け、今年度、創立70周年を迎えました。

この間、周年行事としましては、昭和39年に創立15周年、昭和57年に創立35周年、平成10年に創立50周年の行事が行われました。

創立15周年は、坂下高等学校として10周年の年でもありました。分離独立からこの10年の間に校舎、体育館、運動場等が整備され、また、校章、創立記念日(4月30日)、校歌が制定されました。

創立35周年記念事業は、新校舎及び同窓会館落成式が中心行事として行われました。近代的永久校舎として完成を見た新校舎には学校庭園(中庭)も整備され、現在も四季折々に私達の日を楽しませてくれております。

創立50周年記念事業は、同窓会館増改築、同窓会会員名簿作成、岐阜県立坂下^{さかした}女子高等学校ギター・マンドリン部による記念演奏会等がありました。また、本校第2回卒の日展評議員 室井東志生画伯より、御作^{ひすい}『翡翠』が学校に寄贈されました。

この度の創立70周年記念事業に向けては、まず、平成28年7月に実行委員会準備会が開催され、記念事業実施基本構想、記念事業実行委員会組織、記念事業スケジュール、記念事業会計予算の各素案が示されました。その2ヶ月後に「福島県立坂下高等学校創立70周年記念事業実行委員会会則」が制定され、本格的な準備がスタートしました。以来、3ヶ年に渡る本校同窓会を中心とした準備と、皆様からの心温まる御寄付によりまして、昨年10月にプレ事業として開催しました公開文化祭「坂高祭」、「写真展 坂高70年のあゆみ」、「講演 どこまでも生きぬいて夜回り先生いのちの授業」を皮切りに、記念誌「きりの葉」の発行、同窓会会員名簿の整理、中庭の整備、記念式典の挙行、ダニエル・カール氏による記念講演会の開催、記念祝賀会の開催と、かくも盛大に執り行うことができました。厚く御礼申し上げます。

最後に、本事業に協賛いただきました多くの方々に対し、改めて衷心より感謝申し上げます。また、皆様の限りない御健勝と御多幸をお祈りいたしますとともに、今後とも本校に対する御理解を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶いたします。